



東邦ガスネットワーク ビジョン

2022年4月

基本理念

東邦ガスネットワークは、
お客さまや地域とのつながりを広げ、
時代が求めるエネルギーを安心とともにお届けすることで、
健やかな毎日と持続的な社会を支えています。

経営方針

- 発想・行動の原点を「お客さま」に置きます。
- 新たな需要を開拓し「成長」を続けます。
- 揺るぎない「安定供給と安全」を追求します。
- パートナーの皆さまと「一体」で取り組みます。
- 「中立性・透明性」を全うします。
- 「意欲と能力の発揮」を重視し、ひとを育てます。

行動基準

- 「喜ばれること」に喜びを
- 「未来を拓く」挑戦を
- 「安心」に最大の尽力を
- 「すべての仲間」に感謝を
- 「社会を支える」責任を
- 「成長の歩み」に実感を

つなげていきたい
あしたがある。



わたしたちが大切にしている理念を、事業のコアである導管をモチーフに記載。
事業の成長性、未来へのつながりを、導管を覗き込んだ際の奥行で表現しています。

1 ビジョン全体像

当社を取り巻く環境変化	4
東邦ガスネットワーク ビジョンの全体像	5
5つのチャレンジ	6

2 ビジョン達成に向けたチャレンジ

challenge1 時代が求めるエネルギーの供給	8
challenge2 揺るぎない安定供給と安全の追求	10
challenge3 先進技術による現場の革新	12
challenge4 広範なエンジニアリング事業の展開	14
challenge5 持続的社会への貢献	15
経営基盤	16



1

ビジョン全体像



2030年代半ばまでに想定される事業環境の変化

エネルギー

- カーボンニュートラルに向けたトランジション期においては、低炭素化に寄与するエネルギーとして、天然ガスシフトが推進。
- 将来の脱炭素化へ向けては、メタネーションガス、バイオガス、水素の利用が拡大。

地域経済

- リニア中央新幹線の開通により、中部経済圏がさらに広域化。
- 少子高齢化による人口減少と、人手不足が深刻化。
- AI、ロボット、通信などデジタル技術の開発がさらに加速し、ビジネスへの利活用が拡大。

社会課題

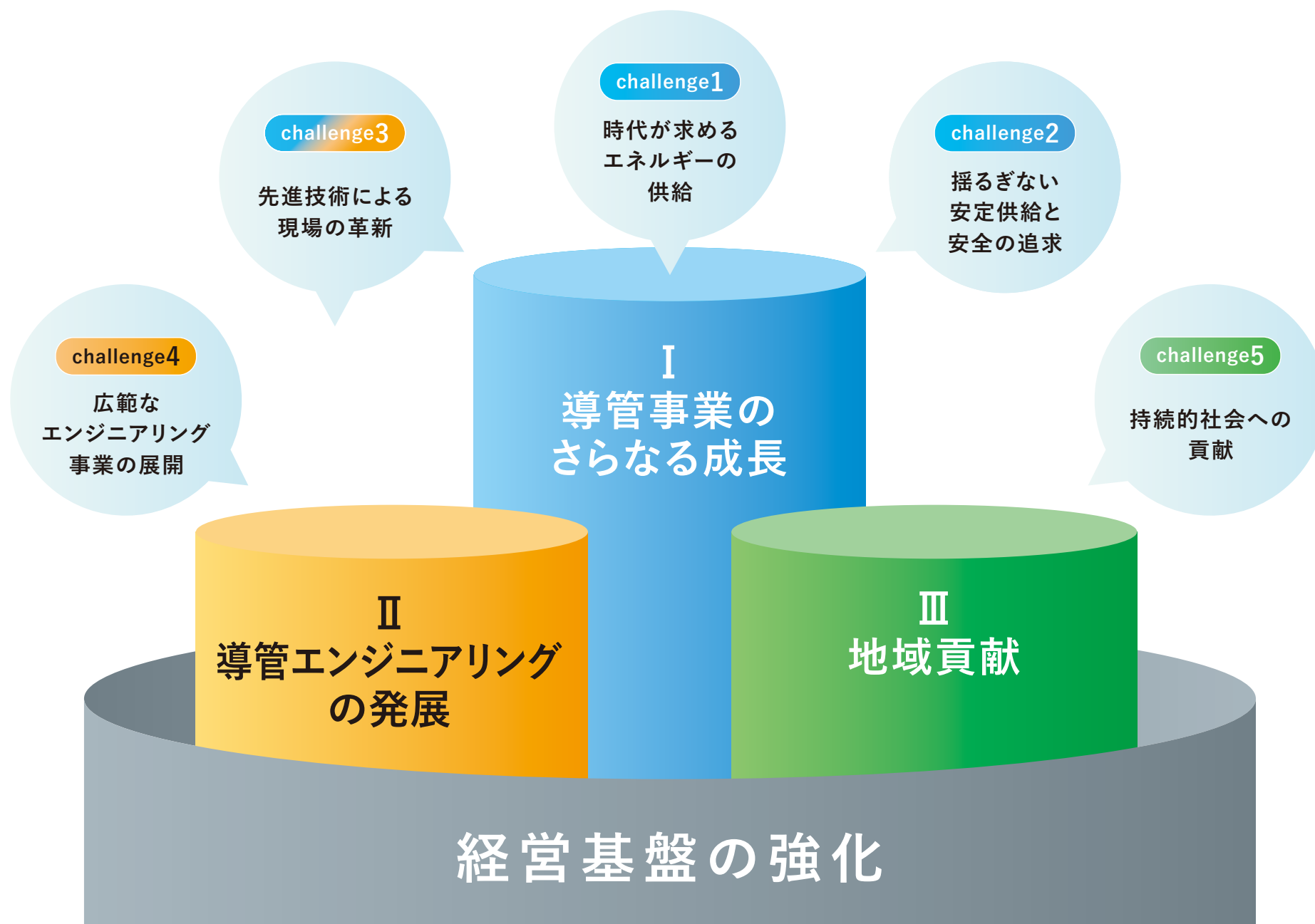
- 気候変動により激甚化する風水害や大規模地震へのハード対策、ソフト対策のさらなる強化。
- 高度成長期以降に整備された社会インフラ（上下水道・道路・橋梁等）の老朽化対策。

価値観

- 大量生産、大量消費が見直され、サステナビリティを重視する価値観が浸透。
- 生き方やライフスタイルなど、一人ひとりの価値観が多様化。

東邦ガスネットワークが果たすべき役割

- I. 社会の低炭素化、脱炭素化に寄与するエネルギーを、地域に広がる導管網と先端技術を活用して、安定的に安全に届けます。
- II. 導管事業で培ったエンジニアリング力を幅広いインフラ事業者へ展開していくことで、社会課題の解決に貢献します。
- III. 地域に根差す事業者として、サステナビリティを重視し、地域のレジリエンス向上をはじめ、社会貢献に積極的に取り組みます。



challenge1

時代が求める エネルギーの供給

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、トランジション期では環境負荷低減に寄与する天然ガスが、将来的にはメタネーションガス・水素など様々なエネルギーが求められます。時代の変化、また多様化するお客さまニーズを適切に捉えたエネルギーをお届けし、サービスを提供していきます。

challenge2

揺るぎない安定供給と 安全の追求

エネルギー供給を担う事業者として、お客さまに安心してご利用いただくのはもちろん、災害など緊急時においても、迅速に復旧することが求められます。維持管理、防災対策を通じて常に設備の健全性を確保し、エネルギーを安定的に、安全にお届けし続けます。

challenge3

先進技術による 現場の革新

導管や設備の建設・維持管理において、作業を確実に、かつ、効率的に遂行するためには、先進技術の活用が不可欠です。非開削技術をさらに開発・導入し、デジタル技術やAIの高度な活用を推進します。

challenge4

広範なエンジニアリング事業の展開

地域インフラの老朽化や、人口減少による人手不足は、喫緊の社会課題です。当社の導管エンジニアリングを、幅広いインフラ事業者を展開し、こうした課題解決に貢献すると同時に、新たな収益基盤を構築していきます。

challenge5

持続的社會への貢献

地域に根差す事業者である当社は、地域レジリエンスの向上をはじめとする社会的責任を果たすことが求められます。地域の産官学をはじめ、幅広いインフラ事業者との連携や信頼関係を一層強固にし、地域のお客さまに寄り添った社会貢献を行っていきます。



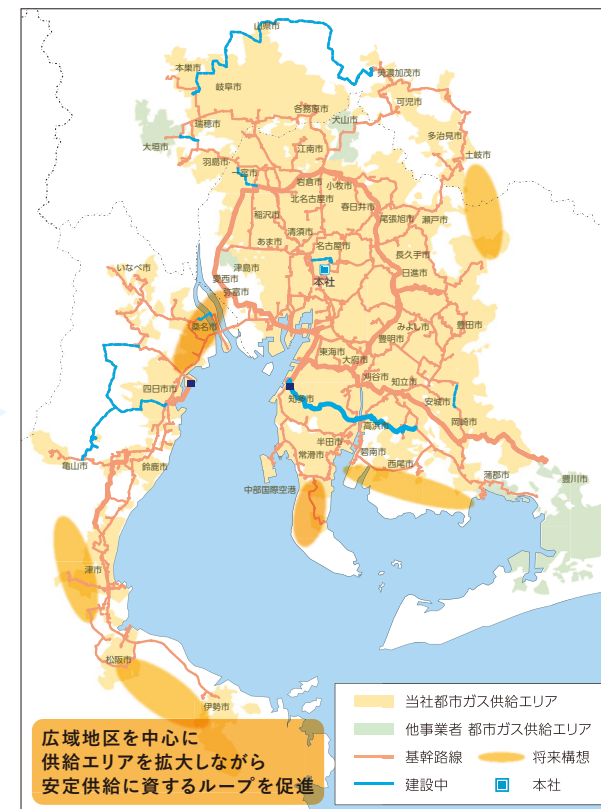
2

ビジョン達成に向けた チャレンジ



① 低炭素化への貢献

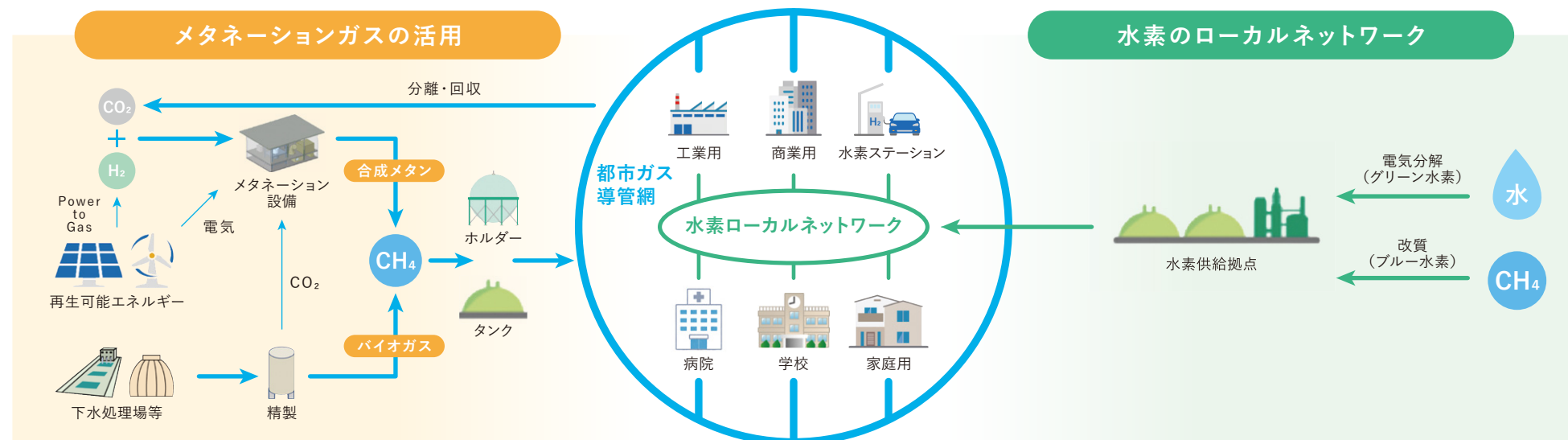
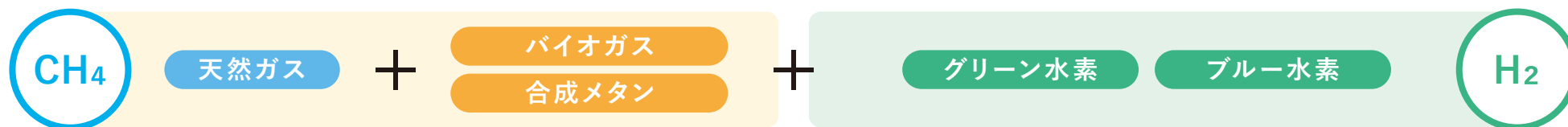
- ▶ エネルギーの高度利用など、家庭用・業務用それぞれのお客さまの、さまざまなご要望にお応えし、都市ガスへの燃料転換を進めます。
- ▶ より広域のお客さまに、安定的に供給できる基盤を構築し、トランジション期において、環境負荷の低い天然ガスの普及拡大を推進します。



② 脱炭素化への挑戦

- ▶ 2050年カーボンニュートラルに向けては、既存の導管網を最大限に活用し、新しいガス体エネルギーを、より効率的に、より低廉に供給するための技術開発、設備形成を推進します。
- ▶ ローカルネットワークによる水素のパイプライン供給に挑戦し、地域のお客さまニーズにお応えするエネルギー供給を実現します。

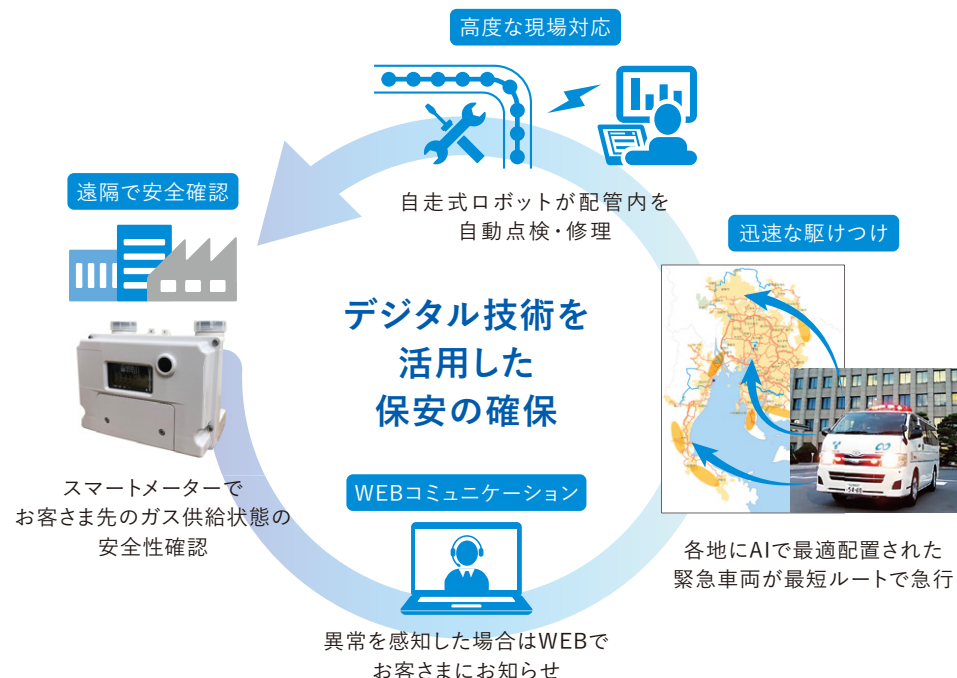
カーボンニュートラルに向けた新しいガス体エネルギー



① 安定供給・保安の確保

- ▶ ガス設備の建設・維持・緊急保安における高度な知識・技能を伝承するとともに、最新の技術を適用・活用する力を高めます。これにより、現場の第一線における作業の効率化と高度化を両立させ、揺るぎない安定供給と安全を実現します。
- ▶ お客様に安心してガスをお使いいただくため、24時間365日、常に緊急対応が可能な体制を堅持し続けます。スマートメーター、AIなど最新のデジタル技術の活用により、お客様状況を遠隔で把握し、コミュニケーション、現場対応をより迅速に、より確実に行うなど、一層の安全性向上を図ります。

ガス設備に精通した専門知識・技能

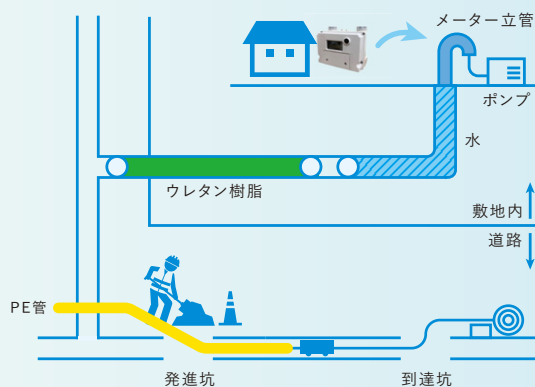


② 防災対策

- ▶ 非開削工法、更生修理工法などを駆使し、ガス導管網の耐震化率100%を達成します。
- ▶ 低圧遮断ブロックのさらなる導入と、ブロックの細分化、供給停止基準の最適化により、災害時の供給停止範囲を極小化します。
- ▶ 導管網の圧力監視による健全性の早期確認と、スマートメーターを活用した遠隔開閉栓、訓練を通じて高めた防災対応力により、災害時の迅速な復旧を実現します。

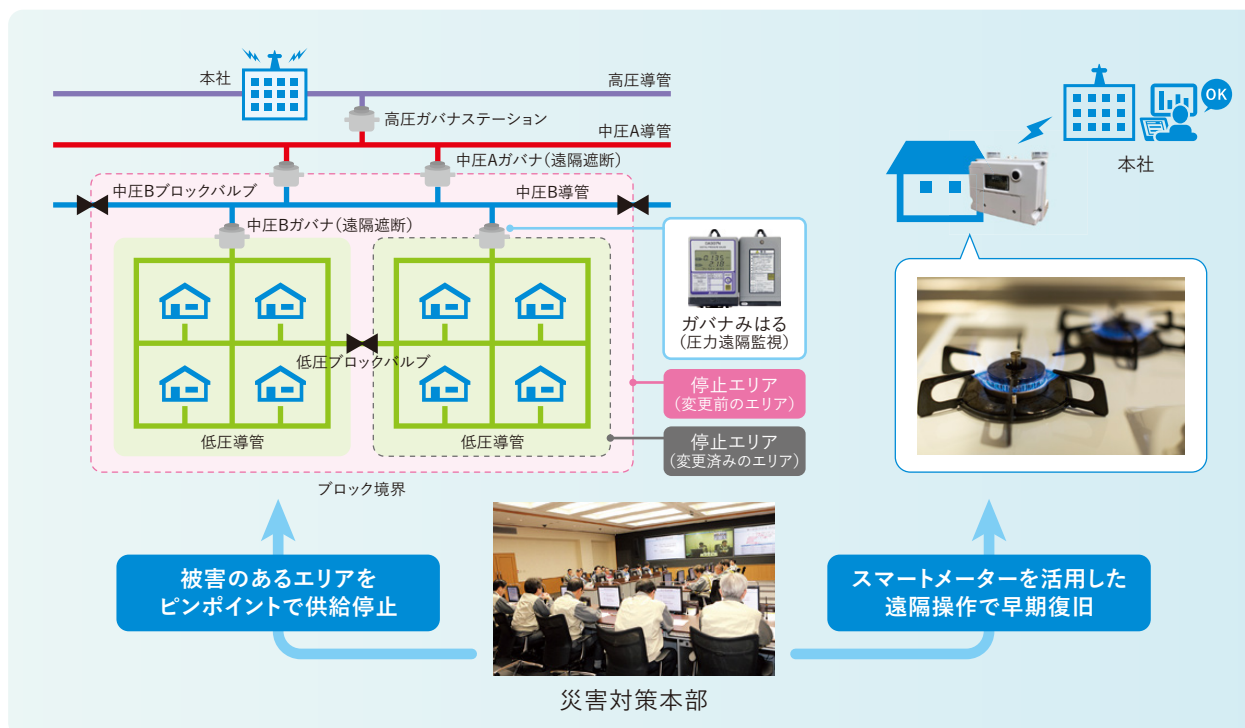
非開削供内管更生修理工法

道路を掘削せず、メーター立管から供給管までを樹脂ライニングする工法



ワイヤーブレード工法

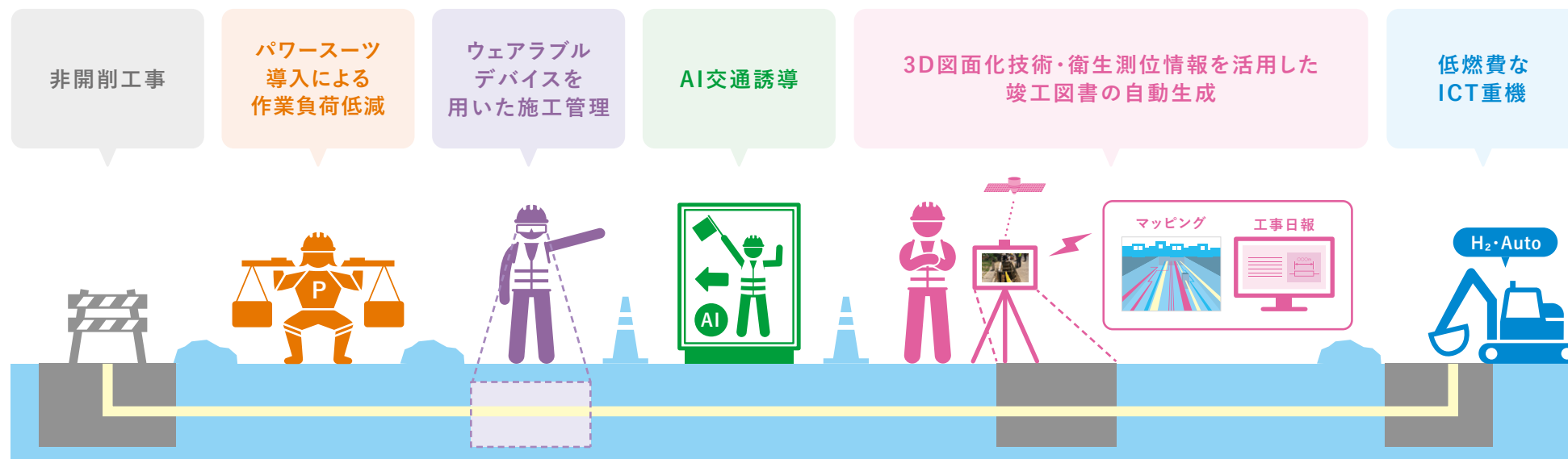
既設管内にワイヤーを通した後、既設管を割り開きながら新設管を地中に引き込む工法



① ガス導管の建設工事

- ▶ ガス工事のスマート化（作業補助、自動掘削等）により、安全性と作業効率を高め、魅力ある働きやすい次世代の工事現場を実現します。
- ▶ 工事データを活用した最適な設計や画像認識技術による竣工図書の自動作成等により、測量から設計、工事、竣工図書作成における一連のプロセスの高度化・省力化を推進します。
- ▶ すべてのガス工事に対して非開削工法・更生修理工法を開発・導入し、低コスト化と、建設発生土の最小化による環境負荷のさらなる低減を図ります。

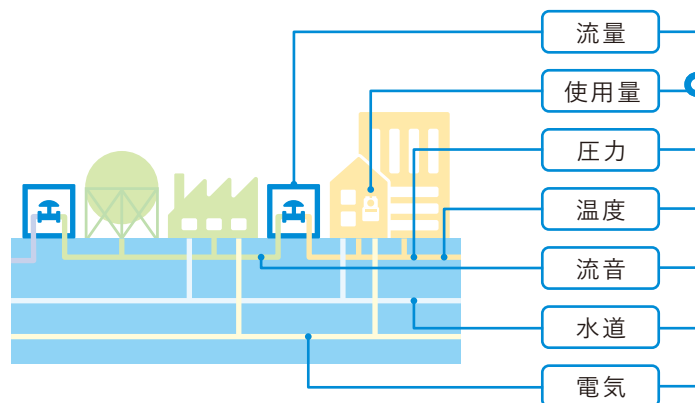
【先進技術を活用した将来の工事現場イメージ】



② ガス設備の維持管理におけるDXの推進

- ▶ スマートメーターをはじめ各種センサーや、ドローン、自走型ロボットなど最新技術を駆使し、設備の状態等のデータを収集します。
集めたデータからAIで設備の異常等を察知し、予知保全を実現します。
- ▶ 建設工事に係る情報を幅広く収集・活用して、ガス導管の近傍で実施される未照会工事を検知し、ガス設備の損傷を防止します。

設備の状態、稼働状況、点検データを統合



AIにより維持管理を高度化



他工事によるガス設備の損傷防止

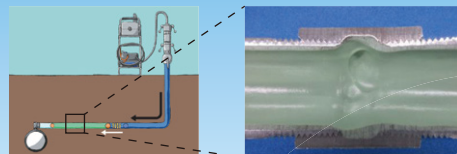


- ▶ 非開削工法、ICTやデジタルなど最新技術を活用した現場管理・維持管理、グループ会社と協力会社の経験豊富な戦力など、当社ならではの導管エンジニアリングを、他のガス事業者へ提供し、新たな収益基盤を構築します。
- ▶ 併せて、本事業を水道事業者など幅広いインフラ事業者への展開も図り、地域インフラの老朽化対策や建設業界全般の人手不足などの社会課題解決に貢献していきます。

非開削工事技術



水道管への
STREAM工法の適用



道路を掘削しない
供内管更生修理工法

先進技術による維持管理



整圧器の遠隔監視(ガバナみはる)



ガスホルダーの
超音波検査ロボット

東邦ガスネットワークの強み

技術

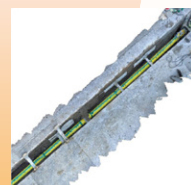
ノウハウ

戦力

— 3D図面化技術 —



データ取得



3D図面化



マッピング



事務業務の自動化

ICTを活用した現場管理



管路の劣化予測



スマートメーターのデータ活用

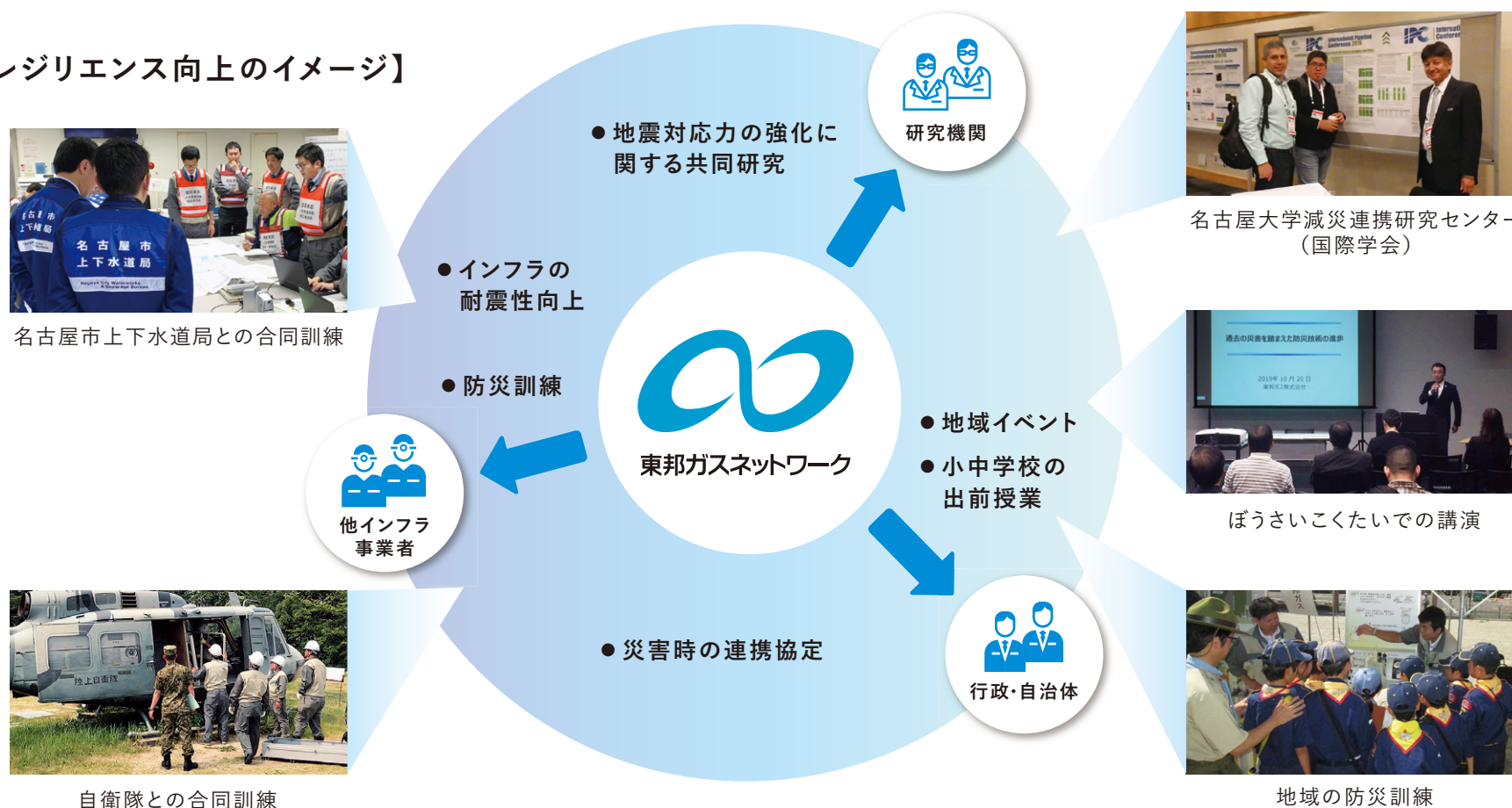
地区毎、時間帯毎のデータ

- ガス使用量
- 圧力
- (地震時)SI値

デジタル技術

- ▶ 大学との災害対応に関する共同研究、自治体や他のインフラ事業者との災害時の連携協定や合同防災訓練、防災行事への参画による啓蒙活動などを通じて、地域全体のレジリエンス向上に貢献します。
- ▶ 導管工事におけるリサイクル、環境教育・食育の展開、環境保全活動や地域行事への参画などの活動を積極的に展開することで、地域に寄り添った社会貢献に取り組めます。

【地域レジリエンス向上のイメージ】



強固な経営基盤の構築

- ▶ 事業環境の変化に、柔軟に対応しながら、安定した利益の創出を目指します。
- ▶ 失敗を恐れず挑戦し、自ら未来を切り拓いていく企業風土を醸成します。

人材育成

充実した育成メニューで
専門知識・技能やITの活用力を高めます。

組織風土

社員の挑戦意欲をサポートし、一人ひとりが
いきいきと活躍できる職場環境を作ります。

経営基盤

事業運営

常に改革・改善の視点を持ち、
不断の効率化に取り組めます。

経営姿勢

導管事業に求められる
「中立性・透明性」を全うします。

つなげていきたい
あしたがある。



東邦ガスネットワーク

<https://www.tohogas.co.jp/nw/>



本資料における将来の見通し等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらとは異なることがありますことをご承知おき下さい。

